

業 種	鉄道・軌道
取組分野	内部監査
テ ー マ	多様な視点での内部監査を実施することで、監査の有効性を高める取組
取組の狙い	異なる部門・輸送モードの職員で内部監査チームを構成することで、多様な視点による自由度の高い監査を実現
具体的内容	1. 監査員、監査チームの構成 (1) 監査員は、鉄道部門（運輸）、鉄道部門（保守・工務）、自動車部門（バス）、総務部門に所属する課長級、課長補佐級、係長級の職員から選出している。 (2) 監査チームは、3名1チームとし、監査員は、被監査組織と異なる部門からも選出し、構成するよう工夫している。 内部監査の様子 2. 監査の準備、実施、振返り (1) 監査項目は、前回の内部監査結果、内部監査委員会が決定する重点監査項目に加え、監査チーム毎に、監査員各々の経験を踏まえた自由度の高いチェックリストを作成することで、部門を超えた多様な視点を取り入れている。 (2) 監査は、作成したチェックリストに基づいてインタビュー形式で実施し、必要に応じて書類を確認している。 (3) 監査結果は、速やかに安全統括管理者、経営トップまで報告し、必要な事項について検討を行うとともに、必要に応じて監査の実施方法の見直しを行っている。 3. 監査員の力量向上の取組 局内での各種教育や外部研修等に加えて、下記の取組を実施している。 (1) 各監査機会では、部門長が監査の開始から終了まで立ち会い、監査

	員の監査状況（監査時間・質問内容・インタビュー方法・監査結果）を観察し、良い点や悪い点を見出し、監査方法について適宜、助言を行っている。（オンサイトモニター） （２）監査員の任期を複数年として、監査スキルの蓄積を図っている。 （３）次年度以降の監査員候補者向けに、監査の見学を実施するとともに、監査員経験者による講話を実施している。
取組の効果	１．部門を超えた多様な視点・観点から自由度の高い監査が行われることで、経営トップを含む被監査組織にとって、新たな気づきを得られる機会につながっている。 ２．監査員自身においても、チーム内の打合せやチェックリストの作成、インタビューの実施を通じて、経営管理部門や他部門の職員の視点・観点に触れ、自部門の安全に対する考えや取組を広い視点で見つめ直す機会となっているほか、部門間の連携が促進されるなどの効果を実感している。
事業者名	横浜市交通局 安全管理部 安全管理課 （連絡先：０４５－６７１－３１７３）